

市

民

の

声



知覧町 瀬世

久本昇志

議会に思うこと

退職したらここに住もうと決めたのが十数年前、そして南九州市知覧町に移住してきてもうすぐ4年になります。

テーマを何にしようと思いつつ、せっかくの「市民の声」だから議会に対してひと言書かせていただきます。

これまで開催された一回目から三回目までの議会報告会、議員との意見交換会に出席しましたが、議員個人の意見が多く、私は議員個人の考え

は、議員個人宅でも話を聞けばいいと思います。議会は、行政側と対する機関です。南九州市議会は、20人の議員の合議体であり、議員個人の意見ではなく、議会としての意見を聞きたいということです。

今回もこの文字どおりの「議員との意見交換会」に終わって残念な感じでした。せめて会派を作って、日常の活動から市民に知らせて意見を聞く「意見交換会」を開き、内容によっては議会の意見、会派の意見として話してはどうでしょうか。

また、5年後10年後の南九州市をどうするか、行政はこう考えているが、議会としてはこうだ、会派としてはこうしていくと答える場となることを期待します。それが市民との意見交換と思

います。

今までの「市民の声」も含めて、どう活かせるのだろうか。せっかくの意見を出していただいたのなら、その成果をあげてもらいたいと思います。



額娃町 御領

園田純廣

美しい

故郷での暮らし

ここ額娃町で私は生まれ育った。

県内で学生生活を送り、二十五年間関西で働いた。

美しい自慢の故郷は忘れがたく、できることな

ら定年前に帰省したいといつも考えながら子育てをし、五十歳で故郷へのUターンの夢を実現することができた。

額娃町の自然は美しいとしみじみ思う。番所から眺める開聞岳、大野岳から三百六十度の大パノラマ、新年の暦にいつも採用されてきた瀬平公園、海、山とも絶景である。

現在は、自分の娘と孫計6人で暮らしている。海岸や磯での釣りやミナ探り、マキ割りや薪採り、ヨモギを摘みでの餅つき、コマ回しや風揚げ、模型飛行機作りなど、孫たちには昔からの伝統的な暮らし、私たちの子ども時代のことを体験させたいと思う。

この美しい自然も時代の変化にはついていけないのだろうか。山や海、川の生き物が減って

きたという気がしてならない。

自然破壊や生命体の減少は人間の新しい生活スタイルが招いたものかもしれない。ゲームやネット環境に引きこまれていく子どもたちを危惧する。

孫たちと山や川や海で遊んだり、陸上競技場で競走したり、テニスを楽しんだり、この美しい故郷での暮らしを続けていきたい。



番所鼻公園から臨む開聞岳 ～絶景祭り～

編集後記

年が明けて初めての議会だより、改めて新年のご挨拶申し上げます。

私たち広報委員の活動も早いもので一年が過ぎ、新年を迎え、新たな気構えで紙面づくりに取り組みなればと思っております。

今年は酉年です。酉は、果実が成熟の極限に達した状態を表すと言われる、また、運や御利益をトリこみ、充実した1年が期待できるのが酉年とも言えます。

ぜひ、そんな年になって欲しいものです。本年も南九州市議会だよりをよろしく願います。

(満留)

▼広報編集委員会

委員長 西 次雄
副委員長 鮫島 信行
委員 日置 友幸
大久保太智
浜田 茂久
満留 秀昭